



ミヤ・ジャズインのトップバッター、姿川第一小学校吹奏楽部

各会場でひっぱりだこだった、うつつのみや親善大使のおふたり

特集2/宇都宮の愉快な秋祭り

# 「宮の市(商業祭)」「ミヤ・ジャズイン」「宇都宮餃子祭り」

歩いた! 食べた! 楽しんだ!! 秋のイベントわくわく巡り

毎年恒例の「宮の市(商業祭)」「ミヤ・ジャズイン」「宇都宮餃子祭り」は、秋の宇都宮を代表するイベントとして、市内だけでなく県内、県外からも訪れる、メジャーな存在。そこで今回は、写真とルポでこれらのイベントの魅力をお伝えします。

宇都宮餃子祭り会場を埋め尽くす人、人、人!



県内外から集まった餃子ファンが舌つづみ

できましたが、腕につけた「宇都宮商工会議所」の腕章を見せると、にっこりと笑顔。昨年初めて参加して、とても楽しかったので、今年はたくさん食べようと泊まりがけで来たそうです。「今夜も泊まって、2日間餃子さんまいるつもりです」とニコニコ顔のお母さん、お父さん、そして男の子。たくさん食べて帰ってね!

でも、ニコニコしている場合ではないです。もうすぐ「ミヤ・ジャズイン2015」のオープニングです。ああ、結局ひとつも食べられない! という未練を残しながらも、オリオンスクエアへとダッシュした記者でした。

## スウィングしなきゃジャズじゃない

「ミヤ・ジャズイン2015」(以下「ミヤ・ジャズイン」)のメイン会場、オリオンスクエアに駆け込むと、ちょうど開会式が始まるころでした。急いで、ステージ上がったミヤ・ジャズ推進協議会の柿沼賢会長のあいさつをカメラに収めます。続いて市長もあいさつ、ジャズの街の魅力をアピールしました。開会式後は、宇都宮市立姿川第一小学校の吹奏楽部による元気な演奏。さつそく盛大な拍手がわきあがります。本場のジャズを学ぶため20代でアメリカへ渡り、現在はニューヨークで活動している高

それにしても、あいにくの寒空なのに、すごい熱気(とゴマ油の匂い)が、会場全体を包んでいて、店の人たちも早くも汗だくになりながら、次々と餃子を焼いていました。「今年は、餃子を焼く機械を増やしていただくなど、お待たせしない工夫をしています」と、餃子会の鈴木事務局長。確かに昨年より、進むスピードが速い! その分、おいしそうに食べている笑顔が、そこにもこちらにもあそこにも! 見ているこちらまで、うれしくなってきました。

10月31日(土)、午前9時55分。宇都宮城址公園内に特設されたステージで、オープニングセレモニーが始まりました。毎年おなじみのお笑い芸人コンビ「だいまじん」と宇都宮餃子会の鈴木事務局長が、軽妙なトークで客席を笑わせながらカウントダウンを開始。「5、4、3、2、1! 宇都宮餃子祭り、開幕です!」

した! なんと、スタート前から30分待ちの行列が、いくつもあるじゃないですか! いやあ、餃子人気はやっばり全国区ですね! これでは食べられるかなあ、次のイベントへの取材もあるしなあ——ときよろきよろしている、同じくきよろきよろしていた男子と視線がバッチり合いました。思わず声をかける記者。「どこから来たの?」「東京!」と弾む声で答えてくれます。怪しいオジサンに声をかけられたのを見たからでしょう、若い夫婦があわてて駆け寄っ

内春彦さんや、第30回インターナショナルエレクトーンフェスティバルに日本代表として出場し、7万人の中からグランプリを獲得した倉沢大樹さんなどの宇都宮出身のアーティストが出演し、会場を大いに盛りあげました。

ミヤ・ジャズインは、今年はオリオンスクエアの他に「オリオン通り曲師町イベント広場」「東武宇都宮百貨店6階屋上」「宇都宮城址公園」の、合計4カ所での開催。それぞれの会場で、コンボからビッグバンドまで、

茨城県から参加のApple Jamは、切れのいいフュージョンサウンド



外山喜雄とデキシーセインツが懐かしのデキシーランドジャズを披露



さまざまなミュージシャンたちが、楽しい演奏を披露してくれました。県内だけでなく、県外からの参加も多いイベントです。ぐるりと回ってオリオンスクエアに戻ると、ちよど名物「ジャズまん」を買っている60代の女性2人がいらしていました。おひとりは宇都宮、もうおひとりは真岡市から来られたとのこと、どちらも大のジャズファン! 「昔、社交ダンスをやっていたので、ビッグバンドのスウィングは大好き!」と聞きうきした声でおっしゃいます。「私は、若い頃はジャズバンドと一緒に踊っていたのよ。ダンサーだったの」若やいだ声で懐かしむ婦人たち。改めて「ジャズのまち」の歴史の深さを知りました。

## ニッコリスマイルで商売繁盛!

オリオン通りからパンパ通りまで、道路を埋め尽くすさまざまなお店は、宇都宮市の商店街の秋のイベント「宮の市(商業祭)」の一環です。オリオン通りは「オリオンバザール」「オリオン一箱古本市」、パンパ通りは「パンパストリートフェスティバル」。ちなみに11月1日(日)にはユニオン通りで「フリーマーケット in ユニオン」、パンパひろばで「ICHIGOJAM」、日野町通りで「ひのまち秋祭り2015」が開催されました。中心商店街だけでなく、宇都宮市内の各地の商店街でも、10月から11月にかけてイベントが行われているのは、皆さまご存じのとおりです。パンパ通りには例年青年部、女性部も出店。今年もうつつのみや親善大使や、ゆるキヤラ「しょうちゃん」も参加して、会場を



大にぎわいのパンパストリートフェスティバル

オリオン通りでは、栃木県内の出版社が共同で販売

## 笑顔があふれた2日間でした!

翌日の11月1日(日)も、各会場は大盛況。さらに、この日はスタンプラリーも実施され、親子でスタンプを集めて回る姿が、ひっきりなしに通りました。スタンプブースの人たちも、「寒いわねえ!」と言いながら、笑顔でお客さまをお迎えしていました。お疲れさまです!

餃子祭り会場では、ボランティアで働く一条中学校の生徒たちが、ゴミを集めていました。目立たない仕事を嫌がりもせず、に明るい笑顔で走り回る姿は、頼もしくかつこ良く、宇都宮の未来は大丈夫だ! という予感が満ちていました。

まちかど広場では恒例の「さんま祭り」も開催。こちらにもさつそく長蛇の列です。ベビーカーに子どもを乗せたご夫婦は「餃子祭りからこつちに流れて来ました。去年は食べ逃しちゃったので、今年は絶対食べようと思って」と楽しそう。でもお子さまはすやすや。「寝てますね」「餃子でお腹いっぱいになっちゃったみたい」とまた笑顔。「いわ、その分あたしが食べるから!」いや、お母さん、食べ過ぎですそれは。

とにかくどこを回っても人、人、人。笑顔、笑顔、笑顔。すてきな2日間でした。取材で走り回っても不思議と疲れを感じなかったのは、楽しい雰囲気と、何よりもみんなの笑顔のおかげでしょうね!



11月1日のスタンプリング